

YAMAGUCHI
KOUTANSAI

光誕祭

やまぐち

2020
12/1.2.3
TUE WED THU

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー



「ひかり」

わたしたちの生活のまわりには、さまざまな「ひかり」があります。

家にとる「ひかり」、道路にとる「ひかり」、懐中電灯の「ひかり」、ろうそくの「ひかり」

・・・数えきれないほどの「ひかり」です。

その「ひかり」にはどのような役割があるのでしょうか？

夜は「ひかり」がなくては、生活できませんね。

そう、「ひかり」にはわたしたちの安全をつくる役割があります。

でも、役割はそれだけでしょうか？

学校から家に帰るとき、家の「ひかり」が見えてほっとしたことはありませんか。

これは、安全というよりは、安心。心が温かくなる「ひかり」です。

毎年12月、山口サビエル記念聖堂で開かれる「やまぐち光誕祭」では、

たくさんの温かい「ひかり」をつかって、

山口に伝わる歴史やクリスマスの歴史を伝えています。

ただ、みなさんに知って欲しいのは、歴史をつくった人たち、クリスマスを祝った人たちのこと。

歴史もクリスマスも、たったひとりでは作れません。

世界中のみんなが力を合わせて叶えたのです。

みんなの力がひとつになる、みんなの心がひとつになる力を「きずな」といいます。

目には見えない「きずな」は、毎年12月になると

特別で温かい「ひかり」として私たちの目の前に現れるのです。

さあ、今年はみんなで「きずなのひかり」を見てみませんか。

やまぐち光誕祭

ひかりのプロデューサー

丸々もお